

2022年10月17日

関係各位

筑波大学附属高等学校長 藤生 英行

## 第 72 回 高等学校教育研究大会のご案内

秋麗の候、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本校では、下記の通り第 72 回高等学校教育研究大会をオンラインで開催いたします。今年度は、午前中は教科を越えた情報交換の場を設けます。いくつかのテーマについて、各校での取り組みやノウハウを共有できれば幸いです。午後は公開授業および教科分科会を実施します、皆様からのご意見を多数頂戴して議論を深めたいと考えております。

ご多忙の折とは存じますが、是非ともご参加いただきますよう、お願い申し上げます。

### 記

1. 主催：筑波大学附属高等学校
2. 期日：2022年12月10日（土）
3. 会場：Zoom によるオンライン開催
4. 参加申込期間：2022年11月1日（火）～12月3日（土）
5. 申込方法：本校ホームページ (<https://www.high-s.tsukuba.ac.jp/shs/wp/>) よりお申し込みください。

[筑波大学附属高等学校] → [教育研究/研修] → [研究大会]

6. 参加費：無料
7. 注意事項

- ・今年度も昨年同様、Zoom によるオンライン開催となります。生徒の個人情報保護の観点から、お申し込みの際、参加者皆様に所属を明らかにしていただきます。
- ・参加者皆様による当日の録画・録音・写真撮影はご遠慮ください。
- ・次年度以降の改善に向けて、本研究大会の様子は録画させていただきます。
- ・参加者皆様には、Zoom のリンクや資料に関する情報をいただいたメールアドレスへ 3 日前までにお送りします。
- ・研究大会に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

筑波大学附属高等学校 研究教職部

Mail:kenkyu@sgh-tsukuba.org

Tel : 03-3941-7176

### 8. 時程

- 10:15～10:25 入室時間（メールでお送りした情報交換会の各部屋のリンクよりご参加ください）  
10:30～12:00 情報交換会  
12:00～12:45 休憩  
12:45～12:55 入室時間（メールでお送りした各教科のリンクよりご参加ください）  
13:00～16:00 実践報告または公開授業、研究協議

※ 午前のみ、午後への参加も可能です。

## 9. 情報交換会

教科の枠を超えて、テーマごとに情報交換の場を設けます。

どのテーマにも、本校教員が複数名参加しています。

申込時にいずれかのテーマを選択してください。

テーマ	概要
1. 授業改善	今年度、新カリや観点別評価など新システムがスタートしました。その中で授業改善をどのように進めていけばよいか、学校全体の取り組みから個人的な工夫や悩みなどを皆さんで共有し、アイデアを出し合ひましょう。
2. 学校行事	学校行事の指導には多くの労力を割いていることと思います。各校における学校行事の問題点や課題を共有し、その解決策を模索します。
3. 生徒の自主性	生徒の自主性はいかにして育めるのでしょうか。日ごろみなさんが考えていることを言葉にしてみませんか。
4. 部活動	世間では部活動の指導に対する関心が高まっています。各校の状況を共有し、部活動のあり方について考えましょう。
5. 総合的な探究	各校での取り組みを共有し、探究活動の在り方について考えます。 ※このテーマのみ、本校の取り組みを紹介する時間が序盤にあります。

## 10. 実践報告・公開授業

各教科より以下の内容で実践報告をします。

ご覧いただく方法などについては教科ごとにご連絡します。

教科	科目	学年	授業担当者	授業テーマ
国語科	現代の国語	1	秋葉 康浩	「書くこと」の指導 一読み手の理解を得られる文章を書くー
地歴公民科	歴史総合	1	五十嵐 学	歴史総合で考えるー「資料」「問い」「概念」
数学科	数学Ⅱ	2	三輪 直也	他教科での活用を目指した線形計画法の授業
理科	化学基礎	2	柳澤 秀樹	複数の実験で「同じ値」を得ることの意味を考え、その必要性を知る授業
保健体育科	体育Ⅰ（柔道）	1	鮫島 康太	柔道 ～動作の表現に着目して～
外国語科	英語コミュⅠ	1	曾根 典夫	発表活動を見据えた生徒の発話を促すインタラクション

## 11. 教科分科会のテーマと内容

### **国語** ここまでの「現代の国語」「言語文化」の実践を振りかえって

今年度から必修科目として「現代の国語」と「言語文化」の授業が始まりました。学習指導要領の改訂により、国語科の授業は大きく様変わりしようとしています。コンピテンシーを重視した学習指導のあり方や観点別評価の導入など、新たに導入された視点をどのように反映させていくのか。教科分科会では、本校のここまでの実践をご紹介しますと同時に、両科目に関わるさまざまな問題を取り上げて、ご参加の先生方と一緒に考える場にしたいと思っております。

### **地歴・公民** 生徒の問い・教員の問い

新指導要領が施行されて以来、学校現場において「問い」という言葉が氾濫している。例えば、これまで「～について」と書かれていた授業のテーマも、「なぜ～なのか」「どのように～なったのか」という形態をとるようになった。しかし、これらはあくまで「教師の問い」であり、「生徒の問い」ではないことに注意しなくてはならない。これらは、すでに全体像を分かっている者（つまり答えをしっている者）が作成した「問い」であり、これから未知なる世界を探求・探究していこうとする生徒とは、目線が異なっているのである。授業の様々な場面において、どのような「問い」が有効なのか、「生徒の問い」を喚起するにはどうしたらいいのか、議論をしたい。

### **数学** 他教科での活用を目指した数学授業の可能性

本校では数学と他教科との連携を通して、数学を日常生活で活用する態度を育成する試みを行っている。授業公開では、文化祭の出店計画を題材とし、公民科（政経）と連携した、線形計画法について取り上げる。また、太陽電池パネルを題材とし、総合的な探究の時間や理科（物理）と連携した、線形計画法や微分の授業について実践発表を行う。これらを通して、他教科と連携する利点や課題を明確にし、日々の実践につなげる協議を行う。

### **理科** 科学的素養を育む授業と実験観察

今年4月から年次進行で実施されている学習指導要領では、科学的に探究する学習活動を充実させることや、探究の過程を踏まえた学習活動を行うことが求められている。研究協議会では、これらの学習活動について、今回の公開授業をもとに討議するとともに、各校での授業実践の工夫を交流したい。後半は科目ごと（物化生地）に分かれ、さらに議論を深めたい。

### **保健体育** コロナ禍の3年間を振り返って－高校3年生のコメントからみえるもの

休校期間中の2020年4月、保体科は全校生徒に「メッセージ」を送り、オンラインでの「朝体操」を開始した。いまの3年生が入学してすぐのことである。未知の感染症をただ恐れるだけだった段階から「新たな様式」の模索を経て、いまは「With/After コロナ」のあり方を構築しているところである。高校3年生のコメントを引用しながら保体科の取り組みを振り返り、コロナ禍でみえたものを改めて考察したい。

### **外国語** 新課程における指導と評価

今年度より、新学習指導要領の目標及び内容に示された資質・能力の3つの柱（「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」）に基づいた指導と評価が始まりました。今回の協議会では、本校1年生における「英語コミュニケーションⅠ」と「論理・表現Ⅰ」の授業概要と評価方法を紹介します。新学習指導要領に対応した指導と評価の観点から、参加者の皆様と情報交換や議論を行いたいと考えています。